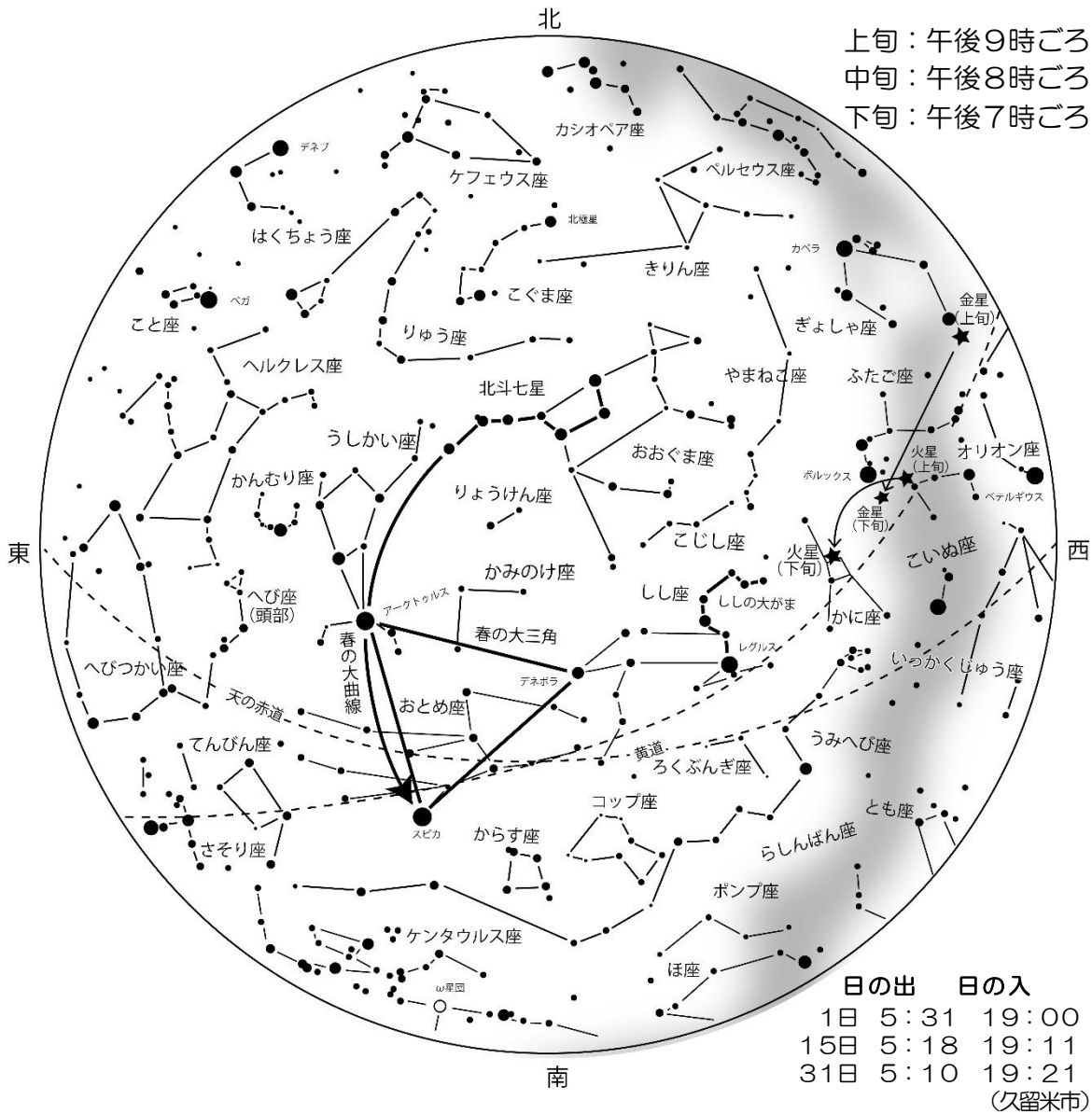


令和5年 5月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★5月の星空案内

5月の星空では、『春の大曲線』や『春の大三角』をたよりに、春の星座を探することができます。まず北の空でおおぐま座のしっぽの部分にあたる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を見つけることから始めましょう。北斗七星を「スプーン」に見立てた時、「スプーン」の持ち手の部分のカーブを南へのぼしていくと、オレンジ色に輝く1等星アークトゥルス、さらにカーブをのぼしていくと、青白っぽく輝く1等星スピカを見つけることができます。アークトゥルスから「ネクタイ」のような星の並びを目印にうしかい座を見つけることができます。そしてスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びを目印におとめ座を見つけることができます。北斗七星からアークトゥルスを通り、スピカまでのぼしたカーブを『春の大曲線』といいます。『春の大曲線』は、春の星座探しのよい案内役になります。もう1つ春の星座探しの案内役となるのが、アークトゥルスとスピカ、そして2等星のデネボラを結んでできる『春の大三角』です。このデネボラには「ししのしっぽ」という意味があり、ここにはしし座があります。デネボラの西で輝く1等星のレグルスから「?マーク」をひっくり返したような星の並び『ししの大鎌』を目印にしし座を見つけることもできます。

実際の夜空でも『春の大曲線』や『春の大三角』を見つけ、春の星座を探してみたいはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星 (2.7 等前後) : おひつじ座→うお座付近 観望に適さない。
- ☆金星 (-4.2 等前後) : ぎょしゃ座→ふたご座付近 西北西の低空でひとときわ明るく輝く。
- ☆火星 (1.4 等前後) : ふたご座→かに座 日の入り後、西の空で赤っぽく輝く。
- 木星 (-2.1 等前後) : うお座付近 観望に適さない。
- ☆土星 (0.9 等前後) : みずがめ座付近 日の出前、南東の空で輝く。

注目の天文現象(5月) ~3つの惑星に接近する月を楽しもう~

今月は、月が土星・金星・火星の3つの惑星に接近します。
13日~15日にかけて、早朝東の空で0.9等で輝く土星に月が接近します。夜明け前の空にある土星を観察するには早起が必要になりますが、明るい星の少ない秋の星座の領域にあるため、観察しやすいと思います。
22日~25日にかけて西北西の空で月が金星と火星に接近します。23日に、-4.2等でひとときわ明るく輝く金星に月が最接近します。夕焼けの残る少し明るい空の中でも観察することができます。
24日に、1.5等で赤っぽく輝く火星に月が最接近します。日の入りから、1時間ほどたち、空が十分暗くなってから観察すると比較的見つけやすいと思います。
ぜひ5月は、土星・金星・火星の3つの惑星に接近する月を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日の出	日の入
1日 5:31	19:00
15日 5:18	19:11
31日 5:10	19:21

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	土	○ 満月 (02:34) 立夏 (03:19) 【暦の上では夏を迎える】	20	土	● 新月 (00:53)
12	金	● 下弦 (23:28)	28	日	☾ 上弦 (00:22)
			29	月	水星が西方最大離角